

(様式第3号)

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件 2）

カテ ゴリ	非該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ					3.9			6	7						12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	会社事務所の電力を新電力系に切り替えている。								7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	倒木等の再資源化(薪燃料)等に転化している。														12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職、増収賄の絶対的禁止を社員に周知徹底している。																	16	16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	毎朝の朝礼時に社員に周知徹底している。																	16	
24	公正 な 事 業 慣 行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	車内工程会議棟、知的財産に触発するような事がないか周知徹底している。								8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報の保護に努め情報漏洩が起きないように管理徹底している。																	16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物は取り扱っていません。																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	行政を交えた意見交換会、建設業界等の情報共有を認識し、悪影響や、倫理面での歓かな対応に取り組んでいる。							5		8		10		12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	サービス、製品ごとの安全性を確保するため社員と現場ごとの情報共有をし、安全性への取り組みをしている。			3.9											12.4				
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	現場ごとの品質を向上させるため、ツールボックスミーティング等により、社員と情報共有を行っている。									9									
30	製品 ・ サー ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	環境に負担をかけない設計、打ち合わせを発注者と地域間で協議している。						6								12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	再生骨材、再生アスファルト等を使用し取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32 社会貢献・ 地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の維持修繕工事を行政と共に積極的に行っている。					4					9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元地域独自の災害協定を締結し、除雪等でも社会貢献に取り組んでいる。					4							11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	長野県産材の積極利用に努めている。										8	9	11	12	13					
35 組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	毎朝の朝礼にて社員と共有している。										8	9								17
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	毎朝の朝礼時に法令遵守を社員と共有し浸透徹底している。																			16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	担当毎企業活動が社会に及ぼす影響、環境等の配慮を周知徹底している。																			16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーの明確化、影響等を着工前に確認し適切に対応出来るように、体制を明確化している。																			16 17
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	現場ごとハザードマップ等を使い、リスクに対する評価を行い適切な対策を講じている。																			16
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域のニーズや要請、要望に努め責任を持った対応に取り組んでいる。																			16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	後継者とともに事業継続計画を立案している。											9		11		13	13.1			16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	後継者候補がいる。										8	9								17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

#### 【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
  - 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
  - また、取組に関する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）